

専門分野 地域・在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	地域で生活する人々を支える看護実践プロセス 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	大畑浩美	実務経験	有
<p><科目のねらい> 地域の特性を知り、その地域で暮らす、在宅療養者とその家族が、疾病や障害による機能的な制約や困難がありながらも保健・医療・福祉の支援や地域社会の協力を得てその人らしく生活を送っていいけるよう、看護の展開方法を具体的に学ぶ。</p> <p><到達目標> 1. 在宅看護の展開方法が理解できる。 2. 在宅で療養生活を送る対象に応じた看護がわかる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 地域連携システムにおける看護機能と役割を理解する。頭づくりをしよう！	講義・グループワーク	
2回目	1. データより地域住民（静岡市）の生活/健康状況や地域住民の生活を支える社会資源を知る	講義・グループワーク	
3回目	1. データより地域住民（静岡市）の生活/健康状況や地域住民の生活を支える社会資源を知る	グループワーク	
4回目	発表会	プレゼンテーション	
5回	訪問看護制度と機能を理解するための頭づくりしよう！ 1. 在宅看護に関する制度 介護保険/医療保険制度/障害者支援制度	講義・演習	
6回目	1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割 「静岡型地域包括ケアシステムとは」	静岡市出前講義	
7回目	1. 在宅看護に関する制度及び地域包括ケアシステムにおける看護の役割 まとめ及び知識の確認	演習	
8回目	1. 療養移行支援 ・病院の病床機能とその看護の特徴/療養移行支援の基本	講義・演習	
9回目	1. 訪問看護の制度と機能 ・在宅療養への移行支援	講義・演習	
10回目	1. 在宅看護における家族支援 ・家族のアセスメント方法、支援方法	講義・演習	
11回目	1. ケアマネジメントの展開 ・ケアマネジメントの目的と機能、提供方法、多職種との連携方法	講義・演習	
12回目	1. 在宅看護過程の展開 看護過程の目的、特徴、展開方法	講義・演習	
13回目	1. 在宅看護過程の展開 看護過程の目的、特徴、展開方法	講義・演習	
14回目	1. 在宅看護過程の展開 看護過程の目的、特徴、展開方法	講義・演習	
15回目	終了レポート作成・実習オリエンテーション	試験・講義	
評価方法	・終了レポート「在宅で療養する方を支援するために必要なこと」A4 1枚程度（40%） ・看護過程（演習課題）60%		
受講生に対するメッセージ	グループワークは統計資料を読み解いて課題を見つける力の育成を図る。グループで協力しながら進めていくことが必要となる。積極的に意見交換をしてほしい。看護過程演習は実習で培った知識を統合し応用することが求められる。全講義出席できることが望ましい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 在宅看護論 医学書院		